

自己評価報告書(最終報告)

報告者

臨床心理士養成コース
／栗飯原 良造

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

- ①言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションの大切さを理解できる授業を継続する。
- ②学生と教員とのやり取りを重視し、できるだけ実戦に近いワーク、知識の理解度を深めるワークを継続して取り入れる。
- ③学生が予めわかるように評価基準を提示する。
- ④学生が予習できるように資料を作成・配布する。

2. 点検・評価

- ①言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションの大切さを理解できる授業を継続している。
- ②学生と教員とのやり取りを重視し、できるだけ実戦に近いワーク、知識の理解度を深めるワークを継続して取り入れている。
- ③学生が予めわかるように評価基準をシラバスに明記している。
- ④学生が予習できるように予め資料を作成・配布した。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①公開講座を鳴門教育大学だけでなく、東みよし町と共催して、発達障害児への対応等を普及させる。
- ②保育カウンセラーとして、カウンセリングやコンサルテーションを行う。
- ③美波町、牟岐町、海陽町、東みよし町の乳幼児健診、4・5歳児健診にかかわり、育児支援、発達障害児支援にかかわる。
- ④鳴門市の1歳6か月健診、3歳児健診にかかわる。5歳児健診の準備として保育所・幼稚園への巡回相談にかかわる。また、新版K式発達検査を実施する場を大学院生に月2回提供する。
- ⑤鳴門市板東ゆたか保育園での実習を大学院生に提供し、修士論文にまとめる。
- ⑥NPO法人育児支援センター「スキップ」で、カウンセリングを行う。
- ⑦保育所、小中学校での講演、公共機関等主催のカウンセリング研修会の講師を務める。
- ⑧心身健康センターのカウンセラーを務める。
- ⑨本学心理・教育相談室相談員を務める。

2. 点検・評価

- ①鳴門市の1歳6ヵ月健診, 3歳児健診にかかわる。5歳児健診の準備として保育所・幼稚園への巡回相談にかかわる。また, 新版K式発達検査を実施する場を大学院生に月2回提供できた。
- ②鳴門市板東ゆたか保育園での実習を大学院生に提供し, 修士論文に役立った。
- ③心身健康センターのカウンセラーを務めた。
- ④本学心理・教育相談室相談員を務め, インテーク面接, 面接, 面接の大学院生陪席を行った。
- ⑤学生の学習・研究についての相談, 就職活動・面接についての助言を4人に行った。

II-2. 研究

1. 目標・計画

- ①長谷川式述部記録法を集大成する。
- ②面接技法, 面接技術の習得を促すワーク, 学習法を実践し, 学会誌に投稿できるようにまとめる。
- ③かかわった乳幼児健診について検討して, 学会誌に投稿できるように検討する。
- ④解決志向アプローチを和風アレンジする。

2. 点検・評価

- ①長谷川式述部記録法を他の理論と比較中である。
- ②面接技法, 面接技術の習得を促すワーク, 学習法を実践し, 学会誌に投稿できるようにまとめつつある。
- ③かかわった乳幼児健診について検討して, 日本心理臨床学会第30回大会で発表した。
- ④解決志向アプローチを和風アレンジし, 講義をしながらまとめて発表に向けて準備している。

II-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①衛生委員会委員として, 本学の安全性と健康増進に寄与する。
- ②人権教育委員会委員として人権教育の浸透に寄与する。
- ③大学院受験者を増やすために, 学外でのアピールをする。
- ④本学大学, 大学院入試にかかわる。

2. 点検・評価

- ①衛生委員会委員として, 本学の安全性と健康増進に寄与し, 中四国における会議に出席した。
- ②人権教育委員会委員として, 本年12月にセクシャルハラスメントについての講演会を企画した。
- ③大学院受験者を増やすために, 放送大学や講演活動を通じて本学をアピールし, 放送大学卒業生が大学院を受験し, 入学者も出た。
- ④本学大学, 大学院入試にかかわった。
- ⑤人間教育専攻長, 臨床心理士養成コース長を務めた。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①日本小児心身医学会中国四国地方会の幹事を務める。
- ②定期的にかウンセリング研修会を開き, 一般社会人や学生にかウンセリングを普及させる。
- ③本学教育支援講師・アドバイザー等派遣事業に継続して講師登録を行う。

2. 点検・評価

- ①日本小児心身医学会中国四国地方会の幹事を務めた。
- ②定期的にかウンセリング研修会を開き, 一般社会人や学生にかウンセリングを普及させた。
- ③本学教育支援講師・アドバイザー等派遣事業に継続して講師登録を行い, 講師として1学期に4回, 2学期に3回講演した。
- ④附属中学校のLFT(ライブ附中タイム)の講師を1回務めた。
- ⑤公開講座を鳴門教育大学で4講座, 東みよし町で2講座開講し, 講師を務めた。
- ⑥井上和臣教授の後任人事において, 選考委員会主査を務めた。
- ⑦脇町高校に「SW-ingカレッジ」の講師として赴き, 高校生と教員に対して本学をアピールした。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)